

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場会社名 株式会社ピクセラ 上場取引所 東  
 コード番号 6731 URL <http://www.pixela.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤岡 浩  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)池本 敬太 (TEL)06(6633)3500  
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	3,664	△58.4	△67	—	△113	—	△113	—
23年9月期第2四半期	8,803	41.2	472	37.0	419	82.8	324	29.8

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 △111百万円(—%) 23年9月期第2四半期 318百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	△10 43	—
23年9月期第2四半期	29 69	29 27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	2,997	716	23.8
23年9月期	4,525	828	18.2

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 712百万円 23年9月期 823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年9月期	—	0 00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,686	△44.7	241	△51.2	203	△59.0	195	△54.2	17 86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規—社(社名)、除外—社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期2Q	11,034,100株	23年9月期	11,034,100株
24年9月期2Q	118,712株	23年9月期	118,712株
24年9月期2Q	10,915,388株	23年9月期2Q	10,915,443株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューの手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予測に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興および輸出の回復により徐々に震災前の状態を取り戻しつつありますが、世界経済の減速懸念の高まりにより先行きに対する不透明感が強まっております。このような状況下、当社グループは、従来の電源コンセントのほか充電式のバッテリーパックや乾電池でも動作することで防災グッズとして利用できる地上デジタルハイビジョン液晶テレビの販売、アンテナ端子のない部屋でも置き場所を気にせず無線LAN機能を利用してタブレット端末やノートPCでテレビ視聴ができるデジタルテレビチューナーの販売およびスマートフォン向けワンセグソフト関連の収入がデジタル液晶テレビの大幅な減収の一部を補完しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は36億64百万円（前年同四半期比58.4%減）、営業損失は67百万円（前年同四半期は営業利益4億72百万円）、経常損失は1億13百万円（前年同四半期は経常利益4億19百万円）、四半期純損失は1億13百万円（前年同四半期は四半期純利益3億24百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は以下のとおりであります。

#### [ホームAV事業]

地上デジタル液晶テレビは、アナログ放送停波後の急激な需要低下に伴う販売単価の下落により大幅な減収があった一方、乾電池等で動くデジタル液晶テレビの販売が出足好調に推移しました。地上デジタルチューナーは、既存製品は伸び悩みましたが無線LANによるワイヤレステレビチューナーの販売が堅調に推移しました。またモバイル関連は、パソコン向けの技術を応用したスマートフォン向けのワンセグソフトの搭載機種が激増し、結果としてロイヤリティ開発が大幅増収となりました。これらの結果、当事業の売上高は22億36百万円（前年同四半期比68.9%減）、セグメント利益（営業利益）は33百万円（前年同四半期比94.4%減）となりました。

#### [パソコン関連事業]

パソコン向けテレビキャプチャーのOEM販売およびそれに伴うロイヤリティ収入は、当初は堅調に推移しておりましたが、タイの洪水の影響により国内における地上デジタルチューナー内蔵のパソコンの出荷台数が低調に推移したため微減となりました。この結果、当事業の売上高は10億43百万円（前年同四半期比11.1%減）、セグメント利益（営業利益）は1億80百万円（前年同四半期比55.3%増）となりました。

#### [AVソフトウェア事業]

デジタルカメラやデジタルビデオカメラの出荷台数がタイの洪水の影響のため伸び悩み、これらに同梱される映像編集アプリケーションに関する受託開発収入およびロイヤリティ収入が低調に推移したため減収となりました。この結果、当事業の売上高は1億55百万円（前年同四半期比29.0%減）、セグメント利益（営業利益）は74百万円（前年同四半期比10.4%減）となりました。

#### [その他]

主に光触媒機能性塗料の開発・製造・販売を行っております。その他売上高は2億28百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント損失（営業損失）は7百万円（前年同四半期は営業利益11百万円）となりました。

(注) 各セグメントのセグメント利益（営業利益）又はセグメント損失（営業損失）は、「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用3億47百万円を配分する前の金額であります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①財政状況

##### (総資産)

当第2四半期連結累計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ15億27百万円減少し、29億97百万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億36百万円、受取手形及び売掛金が8億15百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結累計期間の負債は、前連結会計年度に比べ14億15百万円減少し、22億80百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が13億44百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ1億11百万円減少し、7億16百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が1億13百万円減少したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8億36百万円減少し、2億20百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、10億51百万円(前年同四半期は4億83百万円の獲得)となりました。これは主に、仕入債務の減少額13億44百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、10百万円(前年同四半期は45百万円の使用)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出10百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は、2億25百万円(前年同四半期は48百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入3億1百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

「第31期[平成24年9月期]業績予測の修正に関するお知らせ(平成24年5月9日公表)」におきまして、第2四半期(累計)の連結業績予想の修正をおこなっておりますが、通期の連結業績予想は「平成23年9月期 決算短信[日本基準](連結)」(平成23年11月14日公表)において公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、現時点における平成24年9月期の連結業績予想は、次のとおりです。

### 《連結業績見通し》

売上高	86億86百万円	(前期は157億10百万円)
営業利益	2億41百万円	(前期は 4億93百万円)
経常利益	2億 3百万円	(前期は 4億95百万円)
当期純利益	1億95百万円	(前期は 4億25百万円)

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は平成23年12月、連結子会社である㈱RfStreamの株式を追加取得し、完全子会社といたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,056,124	220,066
受取手形及び売掛金	2,349,399	1,533,719
商品及び製品	298,488	454,856
仕掛品	14,772	8,027
原材料及び貯蔵品	83,003	81,810
繰延税金資産	29,571	29,571
その他	72,373	63,750
貸倒引当金	△19,149	△16,576
流動資産合計	3,884,584	2,375,226
固定資産		
有形固定資産	173,752	150,641
無形固定資産		
ソフトウェア	24,471	20,724
電話加入権	817	817
無形固定資産合計	25,289	21,541
投資その他の資産		
投資有価証券	111,285	103,947
営業保証金	231,988	248,638
保険積立金	3,984	4,044
敷金	85,468	85,468
その他	8,686	7,981
貸倒引当金	△26	△21
投資その他の資産合計	441,387	450,059
固定資産合計	640,429	622,241
資産合計	4,525,014	2,997,468
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,395,242	1,050,473
短期借入金	219,100	187,070
1年内返済予定の長期借入金	88,206	145,322
未払金	156,028	82,496
未払費用	376,119	314,380
未払法人税等	19,705	8,473
賞与引当金	93,311	29,260
その他	106,164	21,883
流動負債合計	3,453,876	1,839,360
固定負債		
長期借入金	197,347	397,889

（単位：千円）

	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成24年3月31日)
資産除去債務	29,877	30,036
繰延税金負債	14,366	12,430
長期預り保証金	1,000	1,000
固定負債合計	242,590	441,355
負債合計	3,696,467	2,280,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,562,389	1,101,290
資本剰余金	3,218,618	—
利益剰余金	△4,790,352	△224,523
自己株式	△125,038	△125,038
株主資本合計	865,617	751,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△41,694	△39,600
その他の包括利益累計額合計	△41,694	△39,600
新株予約権	4,624	4,624
純資産合計	828,546	716,752
負債純資産合計	4,525,014	2,997,468

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	8,803,696	3,664,365
売上原価	7,616,498	2,985,124
売上総利益	1,187,197	679,241
販売費及び一般管理費	714,684	746,663
営業利益又は営業損失(△)	472,513	△67,422
営業外収益		
受取利息	67	63
受取配当金	—	11
雑収入	0	—
営業外収益合計	67	74
営業外費用		
支払利息	6,276	6,889
支払手数料	8,007	7,499
為替差損	34,371	24,422
その他	4,809	7,110
営業外費用合計	53,464	45,921
経常利益又は経常損失(△)	419,115	△113,268
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	1,280
特別利益合計	—	1,280
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	23,733	—
固定資産減損損失	9,050	—
特別損失合計	32,784	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	386,331	△111,988
法人税、住民税及び事業税	3,881	3,876
法人税等調整額	58,348	△1,976
法人税等合計	62,229	1,899
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	324,101	△113,887
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	324,101	△113,887

## 【連結包括利益計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	324,101	△113,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,934	2,093
その他の包括利益合計	△5,934	2,093
四半期包括利益	318,167	△111,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318,167	△111,794
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## （3）【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成22年10月1日 至平成23年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成23年10月1日 至平成24年3月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	386,331	△111,988
減価償却費	39,299	42,111
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△562	△2,573
固定資産減損損失	9,050	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	27,453	△62,770
受取利息及び受取配当金	△67	△74
支払利息	6,276	6,889
為替差損益（△は益）	263	△393
売上債権の増減額（△は増加）	57,998	815,680
たな卸資産の増減額（△は増加）	15,271	△148,429
仕入債務の増減額（△は減少）	△37,696	△1,344,768
未払金の増減額（△は減少）	△64,906	△75,851
その他	58,147	△154,087
小計	496,860	△1,036,256
利息及び配当金の受取額	54	61
利息の支払額	△5,132	△7,698
法人税等の支払額	△7,827	△7,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	483,954	△1,051,421
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△52,143	△3,404
無形固定資産の取得による支出	△1,600	△10,792
投資有価証券の売却による収入	8,580	3,600
その他	△60	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,222	△10,657
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△64,300	△32,030
長期借入れによる収入	130,000	301,000
長期借入金の返済による支出	△21,384	△43,342
配当金の支払額	△10	—
新株予約権の発行による収入	4,624	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,929	225,628
現金及び現金同等物に係る換算差額	△263	393
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	487,397	△836,057
現金及び現金同等物の期首残高	150,647	1,056,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	638,044	220,066

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームAV 事業	パソコン関連 事業	AVソフトウ エア事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,191,256	1,173,694	218,481	8,583,432	220,263	8,803,696
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,191,256	1,173,694	218,481	8,583,432	220,263	8,803,696
セグメント利益	588,127	116,325	83,099	787,551	11,767	799,319

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、光触媒機能性塗料事業等を含んでおります。

- 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	787,551
「その他」の区分の利益	11,767
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△326,806
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	472,513

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎研究費等であります。

- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームAV 事業	パソコン関連 事業	AVソフトウ エア事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,236,983	1,043,585	155,149	3,435,718	228,647	3,664,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,236,983	1,043,585	155,149	3,435,718	228,647	3,664,365
セグメント利益又は損失 (△)	33,195	180,639	74,425	288,260	△7,743	280,516

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、光触媒機能性塗料事業等を含んでおります。

- 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	288,260
「その他」の区分の損失(△)	△7,743
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△347,938
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△67,422

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎研究費等であります。

- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年12月22日開催の定時株主総会において、繰越欠損の一扫及び資本構成の是正を目的とする無償減資について決議しました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本金が1,461,098千円、資本剰余金が3,218,618千円減少し、この減少額4,679,717千円と同額の利益剰余金が増加しております。

これらにより、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,101,290千円、資本剰余金が一千円となっております。